

ハーバーキャップ (Harbor Cap)



▲ 浮き底型枠取り付け状況

◀ 工場内での仮組状況

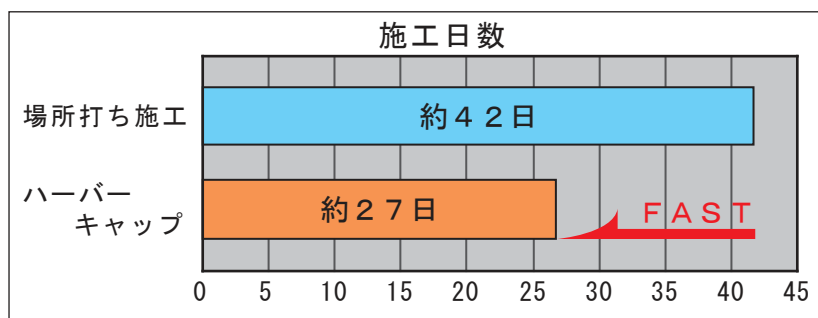
※製品規格は鋼矢板及び杭頭部の形状に応じて都度対応できます。

港湾護岸の上部工は、港湾構造物の設計に準じて場所打ち施工が一般的でした。

ハーバーキャップは鋼管・鋼矢板の上部をプレキャスト型枠で覆い、内部にコンクリートを打設することで上部工を構築する、施工性と安全性に優れた埋設型枠工法です。

▶ 特長

- 1 埋設型枠によるスピード施工で、約35%の工期短縮が可能です。



※巻立て高さ3.0m、延長100mで比較した場合の概算日数です。

- 2 足場等の仮設工、鉄筋工が最小限となり、作業性に優れます。
- 3 ほとんどの作業を陸側から行えるため、施工安全性に優れます。
- 4 転用可能な浮き底型枠により、廃材の排出抑制が図れます。脱型後も海中に沈まないため、回収も容易です。
- 5 海洋構造物に適したコンクリート「ハレーサルト」で製造した場合は、普通コンクリートに比べ約5倍の耐塩害性を有しています。更に、CO₂排出量も約40%削減可能です。

▶ 施工例(造船所の岸壁建設工事)



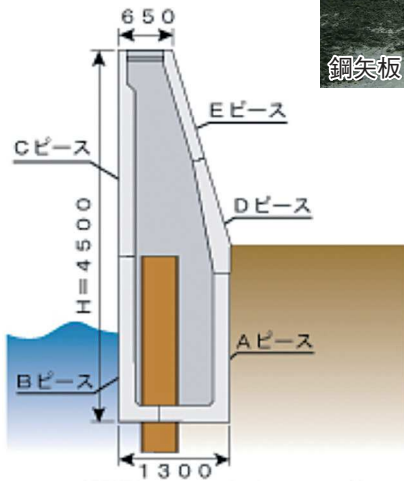
施工前



鋼矢板



合船上ストック状況



陸側設置状況 (Aピース設置)



海側設置状況 (Bピース設置)



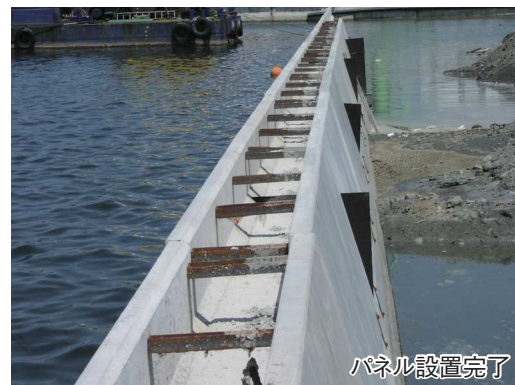
下部コンクリート打設状況



上部パネル設置状況 (Cパネル)



上部パネル設置状況 (Cパネル)



パネル設置完了

カルバート・
下水道

擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・
環境

貯留・
防災システム

通信関連

建築・宅造

特殊工法・
新素材

参考資料